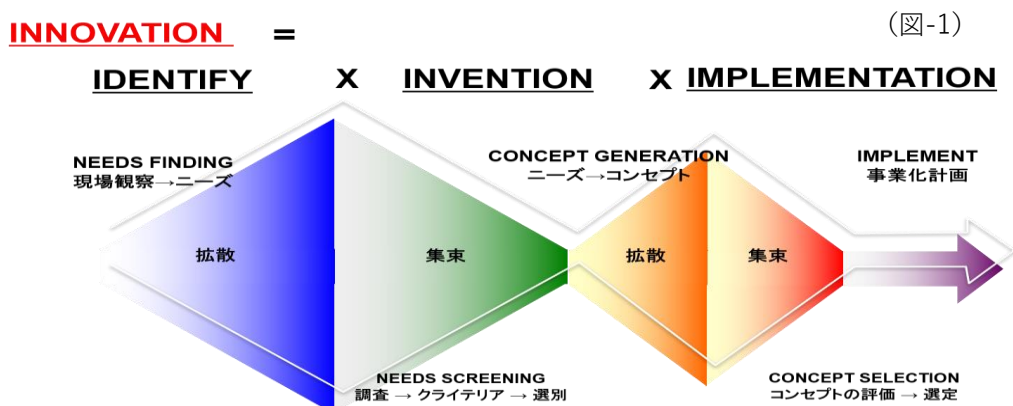


令和2年度 医療機器開発イノベーション人材育成プログラム

～ MID4 プログラムの特徴 ～

東京都は、将来の医療機器産業の活性化を見据えて、イノベティブな医療機器開発を行う企業内人材を育成するためのプログラムを都内中小企業等を対象に開催しています。今年度で第4回目を迎える本プログラムは、昨年度の第3回に引き続き、中尾浩治氏(前テルモ株式会社代表取締役会長)をプログラム監修者として、そして、スタンフォード大学で教鞭をとり、また200社を超える米国医療機器ベンチャーの研究開発、動物実験、臨床試験等に関与するなど、豊富な経験を持つ池野文昭氏をはじめとした、ジャパンバイオデザイン専門講師陣の皆様を指導者に迎え実施致しました。

Covid-19の影響も受けた今回のプログラムは、オンラインでの実施を余儀なくされましたが、講師陣の創意工夫により、バイオデザイン手法を十分に学んでいただく機会を提供することができました。またプログラムにおいて最も重要な観察実習は、東北大学病院の協力の元、感染拡大予防の対策を取ったうえで、実際の現場での観察を実施することができました。



米国スタンフォード大学で創出された医療機器イノベーションリーダー人材育成プログラムとして世界的にも高い評価を得ているバイオデザイン手法は、徹底した現場観察とそこから得られた現場の課題(ニーズ)に基づくNeeds-drivenのプロセスを特徴としています(図-1)。今回のMID4では、参加者10名が個々にテーマを掲げ、この手法に沿って全13回のワークを約5か月間を費やし取り組みました。最終報告では、その一部をご紹介しますとともに、参加者の皆様がこのMIDプログラムで得られた学びについてもまとめていただいています。

参加者の皆さんがまとめられた内容は、実際の医療現場観察から得られた素材をベースに、限られた時間内で作成されたものです。今後、更なる深堀の検討や修正を加えられ、実際の医療機器開発プロジェクトに発展、新しい機器の誕生につながることを願ってやみません。

業務で多忙を極める中にご参加頂いた受講生の皆さまにとっては、今後のご自身の医療機器開発業務や目指す事業への取り組みに於いて貴重な経験と知見を得る機会であり、皆さまの一層の活躍の一助となり得たことを期待しています。

MID4 運営事務局
令和3年3月